



**IMPREZA
EJ20 GDB C,D,E**

**エキゾーストマニホールド
取り付け解説書**



TOMEI POWERED INC.

取り付けに必要な工具類



取付には左記の工具類の他、取り付け方法や現車状態により他の工具が必要になります。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ① 潤滑剤 | ⑩ メガネレンチロング 14-17 |
| ② TOMEIボルトスムースペースト | ⑪ スピンナーハンドル |
| ③ マイナスドライバー | ⑫ ユニバーサルジョイント |
| ④ モンキーレンチ | ⑬ 六角ソケット 8 (ボールジョイント) |
| ⑤ ウォーターポンププライヤー | ⑭ ソケット各種 8・10・12・14 |
| ⑥ ニッパー | ⑮ トルクレンチ |
| ⑦ 板ラチェット 12-14 | ⑯ ラチェット |
| ⑧ コンビレンチ 12 | ⑰ 取扱説明書 |
| ⑨ コンビレンチ 14 | |

製品の確認



下記の内容、数量が揃っているかを確認して下さい。

- ① エキゾーストマニホールド本体
- ② サポートパイプ
- ③ 取扱説明書
- ④ サーモバンテージ 50mm × 15mm
- ⑤ M10 × 1.5 ボルト 3本
- ⑥ ナット 3個
- ⑦ スタッドボルト 4本
- ⑧ ワッシャー 3枚
- ⑨ 留め金 10set
- ⑩ ガasket (ヘッド-EXマニ間)
- ⑪ ガasket (EXマニ-サポートP間)
- ⑫ ガasket (サポートP-タービン間)

作業前の注意

・本品は自動車競技専用部品です。サーキットや公道から閉鎖されたコース内に限って使用して下さい。

・本品の取付は特別の訓練を受けた整備士が、設備の整った作業場で実施して下さい。

・指定する車種以外への取付はおやめください。本品および、エンジンを破損する恐れがあります。

・取り付けの際は適切な工具、保護具を使用しないと、けがにつながり危険です。

周辺部品の取り外し

1. 作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外します。



2. 先にタワーパーを外し、ブローオフバルブのボルト2本とホースを外しておきます。



周辺部品の取り外し



3. インタークーラーを固定している左右のボルトとステーのボルトを外し、ステーも外します。

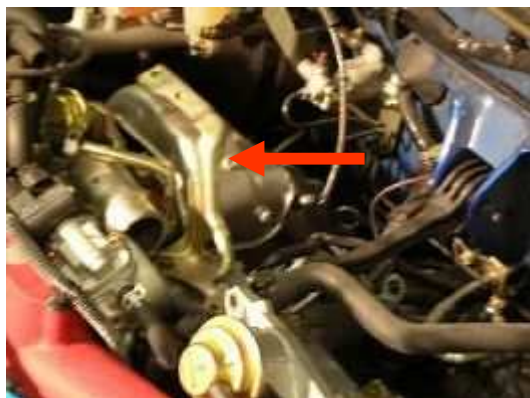


4. インタークーラーの N、OUTのホースを外し、インタークーラーを外します。

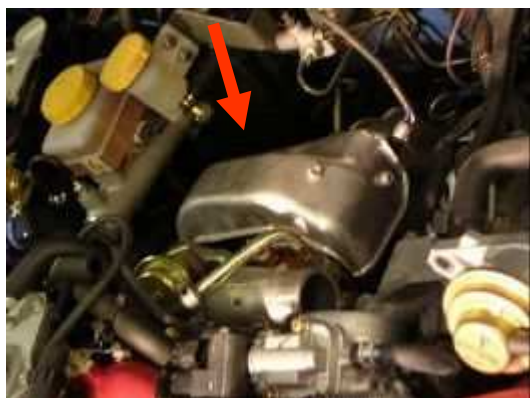
周辺部品の取り外し



5. O2センサーのカプラーを外します



6. インタークーラーのステーを外します。



7. タービン遮熱板を外します。
後で使用するので、組み合わせを良く確認しておいてください。



8. リフトアップしアンダーカバーを外します。
写真のタイプのリフトを使用してのリフトアップの際、アンダーカバー、サブフレームの後ろがリフトにかからないように注意してください。
又、フロントに荷重が寄ってしまうので、トランクにウェイトを載せるなどして、バランスに注意してください。

周辺部品の取り外し

9. 遮熱板のステーとフロントパイプ、タービン側のO2センサーを外します。



10. フロントパイプ、後ろ側のO2センサーカプラーを外します。



11. フロントパイプを外します。



純正エキマニの取り付け外し



12. サポートパイプ、エキマニ連結部の遮熱板を外し、連結部のナットを外します。
(ナット部に潤滑油を塗布してから外して下さい。)



13. ヘッド側の矢印のナットを外し、純正エキマニを外します。
(ナット部に潤滑油を塗布してから外して下さい。)

純正サポートパイプの取り外し



14. タービン側、サポートパイプのナット4ヶ所を外します。
サポートパイプを落とさないように注意してください。
(潤滑油を塗布してから外して下さい。)



15. エンジンマウントのナットを2箇所外します。

純正サポートパイプの取り外し

16. ヘッドに適当な木っ端を当て、ゆっくりリフトを降ろし、5cm～10cmエンジンを持ち上げ、サポートパイプを抜き取ります。

木っ端が折れる恐れがありますので、作業は十分注意して行ってください。

この際、クリーナの配管などに無理がかからないよう注意して下さい。

フロアジャッキに木っ端を載せ、同様にエンジンをリフトしても良いです。

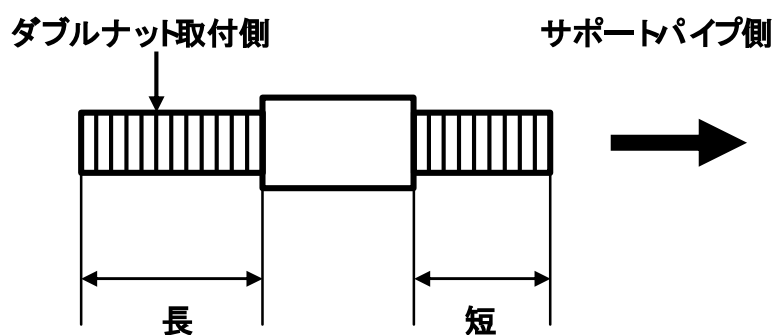
その際、ジャッキの転倒には十分注意してください。



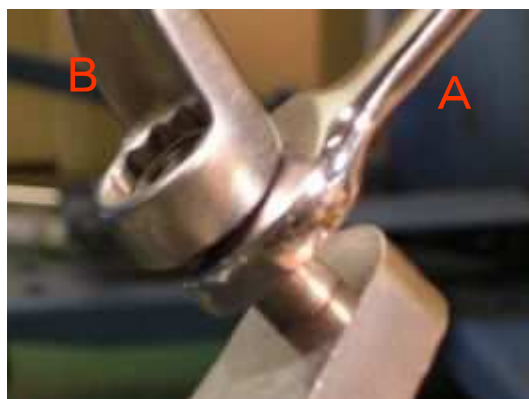
製品の取り付け



17. ネジ部にTOMEボルトスムースペースト等を塗布してから、サポートパイプのタービン側フランジに、スタッドボルトを取り付けます。
この際、ネジ部の長さに注意してください。



18. Aを基準にBを締め付けます。



19. トルクレンチを使用し、トルク2.5kgf-mから3.0kgf-mで締め付けます。
ダブルナットをAを基準にBを緩めます。
ナットを取り外す際、絶対にボルトを動かさない様に注意してください。
スタッドボルトが緩んだ場合は、上記作業をやり直します。



製品の取り付け



20. サーマバンテージを巻く前に、水に浸しておきます。
こうすることで巻き易くなる上、乾くとバンテージが締まります。



22. エキマニ、サポートパイプをバイスにぐわえ、
サーモバンテージを巻きます。

その際、フランジに傷がつかないように、ウェス等で保護してください。



23. しっかり締め込みながら巻き付けて行きます。



24. ある程度巻いたところで、エッジを留め金で固定します。
(手を切らないよう注意してください。)

製品の取り付け



25. 全てまき終わったら、端を留め金で固定します。

(エキマニは、一度で巻こうとせず二分割で巻くと巻き易いです。今回は左図のような分け方をしました。)



26. サポートパイプのスタッドボルトにTOMEボルトスムースペースト等を塗布しておきます。



27. ガasketを当て、サポートパイプを先に作った隙間から入れ込みます。

製品の取り付け



28. スタッドボルトを、タービンのボルト穴 4箇所 に差し込みます。



29. 25で差し込んだボルトにナットを仮締めしておきます。

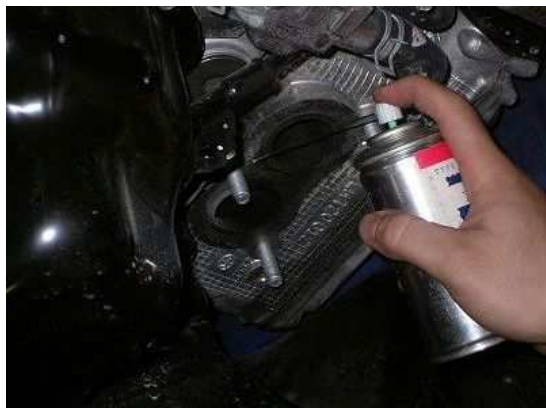


30. ゆっくりリフトを上げ、木っ端をはずします。

(ジャッキを使用した場合は、ジャッキを下げます。)



製品の取り付け



31. ヘッド側スタッドボルトにTOME ボルトスムースペースト等を塗布しておきます。



32. エキマニ本体を取り付け、ヘッド側のボルトを仮締めしておきます。
(ガスケットを入れるのを、忘れないで下さい。)



33. エキマニとサポートパイプをつなぐボルトに、
TOME ボルトスムースペースト等を予め塗布します。



34. エキマニとサポートパイプの間に付属のガスケットを挟み、仮締めします。

製品の取り付け



35. エキマニ、サポートパイプの位置が出たら、
本締めします。

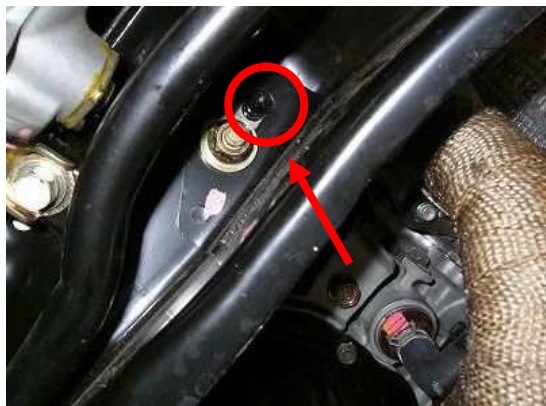
トルクレンチを使用し、ヘッド側 3. 1kgf・m、
エキマニーサポートパイプ間 3. 6kgf・mで締めます。



36. サポートパイプ、タービン側のナットを本締めします。

トルクレンチを使用し、3. 6kgf・mで締めます。

現車復帰



36. エンジンマウントが、メンバーにきっちり収まった事を確認し本締めします。

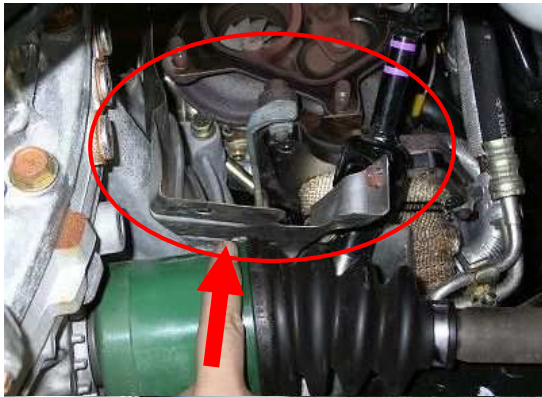
トルクレンチを使用し、8.6kgf・mで締めます。



37. フロントパイプを取り付ける前に、遮熱板の位置関係を、再度、確認しておきます。



現車復帰



38. 先に、下側の遮熱板を置いておき、フロントパイプを組み付けます。



39. フロントパイプと、タービンを組み付け、O2センサーを取り付けます。
このとき、O2センサーカプラーも接続しておきます。

(遮熱板のステーが共締めになります。)



40. フロントパイプとマフラーを接続し、
後方のO2センサーのカプラーをはめます。

現車復帰



41. エキマニ、サポートパイプ、フロントパイプ取り付け完了。



42. タービンの遮熱板と、インタークーラスターを組み付けます。



43. インタークーラー、タワバーを元に戻します。



44. エンジンを開始し、排気漏れが無いことを確認してください。
無ければ、アンダーカバーを元に戻し作業終了です。

この製品に関わる取り付け、操作上のご相談は下記へお願い致します。

営業時間 :月～金 (祝祭日、年末年始を除く)9:00～18:00

EJ20 GDB C,D,E エキゾーストマニホールド 取り付け解説書 05年01月

株式会社 東名パワード

〒194-0004 東京都町田市鶴間1737-3

TEL 042-795-8411 FAX 042-799-7851

URL <http://www.tomei-p.co.jp>

TOMEI POWERED INC.